市町村名	2017 年度　地域からの報告
加賀市 記入者 学校司書	昨年度、県の学校図書館研究大会が加賀市で行われました。たくさんの方々に河南小学校に来校頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。 　それに先立ち、昨年度夏季の加賀市の学校司書研修会を河南小学校で行いました。 　河南の司書の個性は個性として残る形で、数年前に発表した加賀市の学校図書館の利用指導を支えるための図書館の整備はどうあるべきかということをテーマにおいて、長く仕事をしている者も、日の浅い者も一緒に、方針の確認、実務作業という形で少しでも知識と技術の共通化を図ろうとしました。その研修で得たことが、各々の学校の図書館づくりに生かされていくことと思っています。 　さて、昨年度末で３名の方が辞められ、３名の新人の方を迎えました。有資格者は、一人の減となりました。ここ数年で、勤務しながら司書資格を取られる方が出ていることを喜んでいましたので、残念です。しかし３月で閉鎖した学校があり、比較的児童数の多い小学校１校が新たに専任校となりました。それらのことに伴う異動も少しありました。 　今のところ市は、採用に司書資格の有無を問わない方針のようですが、学校司書に関して継続雇用５年の上限は撤廃するとのことで、頑張っている司書には朗報となりました。 　一方で、昨今の学習に関して図書館資料の比重は大きくなり、学校図書館や学校司書に求められるものもとても大きくなっています。資格を持たずに入ることは、かなり苦労を伴うことを考えると、複雑な思いです。 　研修は、これまでと同様、加賀市立図書館の協力の下、年に７回ほど予定されています。加賀市は複式を抱える少人数校が多く、今後廃校や統合の問題を抱えており、図書の移籍をどういう形で行うかといった問題も研修していかなければいけない時期にかかってきたのかなと思っています。
小松市 記入者 学校司書	・昨年度の小松市の学校図書館では、図書館の貸出用パソコンをいっせいに入れ替えてもらえて、これまで使っていたものとは違うシステムにかわったことから、慣れるまでたいへんでした。でもおかげでこれまで不都合だった点が解消されたり、使い勝手がよくなったりということもあり、うれしいことでした。 ・小松市で H24 年作成し配布していた市民のためのブックリスト「本のとびら」は、改訂版が今年できあがり、就学前編、小学校編、中学校編の３種リーフレットとしてリニューアルしました。小松市立図書館、空と子ども絵本館、小松市立小中学校図書館が選書に関わって作成したものです。 ・ここ数年、高校との連携を始める中学校が出てきました。高校生にビブリオバトルを伝授してもらうなど、交流をしています。 ・小松市は 22 年に司書が全校配置となり、そこは今も変わりませんが、現在司書が不足して、2 校兼任になっている人が 6 名います。昨年は 9 人退職したので（うち 3 人は出産のための退職でした）なかなか人がいないようで、困っています。早く決まってほしいです。
能美市	H28 年度 ・研究テーマ「戦争・人権本リスト」増補版作製 ・読み聞かせ・ブックトーク研修会　　講師 大谷志保 氏

記入者 学校司書	・勉強会「読み聞かせ・ブックトーク」 １１名の司書が一人ずつ前に出て、日ごろの成果を発表 ・視察(８月)　小松市立松東中学校 H29 年度 ・研究テーマ「読んでみようリスト」改訂版作成 ・魅力的な POP の書き方研修会　　講師　（うつのみや書店の方）予定 ・勉強会　環境整備飾り ・視察(８月)　(小松市)
川北町 記入者 教育委員会･学校司書	昨年度は、町教委の指導主事と町立図書館の職員・学校司書で取り組みの情報交換と学校図書館の見学をする研修会をすることができました。 見学先では、校長先生・司書の方のお話を聞き、校内・図書館を見させていただきました。これまで、物事の見方・考え方が同じパターンになっていたので、こういった交流・見学を通して違った見方や新たなアイデア得ることができました。とても、有意義な時間となりました。 今年度は、年に１回だった研修会を２～３回程度できればと考えています。
白山市 記入者 市民	・昨年度は「第３次白山市子ども読書活動推進計画」が策定された。第２次計画を更に進めたものになっている。課題としては中学校司書教諭の時間の確保などがあげられている。 ・月一回の学校司書部会ではしばらくぶりにマニュアルの見直しを行ったとのこと。産休、育休の代替司書も困らないように、業務マニュアルを見直し、今年は引き続きシステムマニュアルの見直しも行っている。 ・また、不読傾向を減らすことに力を入れていて、昨年教育委員会による学校アンケートを実施したことで、職員全体の意識の高まりがあった点がよかったとのこと。指導主事の提案で、選書の研修会も行われた ・学校図書館支援センターは、資料の提供、配送、レファレンスサービス、月一度のセンター便りの発行、見学者の受け入れ等、連携の要として活発な活動をされている。市立図書館では、調べ学習コンクールの実施、学校図書館の成果物展示コーナーを作る、等に加え、ビブリオバトル中学生大会をさらに充実させ全市に広げていきたいとのことだった。
野々市市 記入者 市民	市民のための新しい生涯学習施設を目指すものとして、11 月に新市立図書館（学びの杜ののいち　愛称カレード）が開館します。 民間企業（ＴＲＣ図書館流通センター）による運営となるため、ただ単に歓迎ムードばかりではなく、市民の中には民間運営を危惧する人たちも沢山います。他県の民間運営の図書館の様子や新聞記事にも敏感になっています。図書館への関心は高まる一方です。現在の市立図書館ボランティアは来年度からは新たなサポーター制度のもとで活動します。また、より多くの市民がサポーター登録をすると思われます。 新市立図書館の司書は民間雇用となりますが、学校司書７名（小５名、中２名）は教育委員会に所属し、非正規職員のままです。毎月の司書会に加え、野々市市小中学校教育研究会図書部会では司書教諭と共に年６回の定例部会も行われています。 今年度は 10 月 27 日（金）に七尾市で開催される石川県学校図書館研究大会・小学校の部で

	図書館運営について発表するそうです。着実にキャリアを積んで頼もしい限りです。
金沢市 記入者 市民	昨年度（2017 年 3 月 8 日)、今年度（2017 年 4 月 17 日）に教育委員会訪問をいたしました。 ・今年度も司書 39 名は変わりません。 ・また、今年度も昨年度同様２名の学校図書館アドバイザー兼学校司書（＊）が勤務します。 ＊ 週 3 日学校司書・週 2 日学校職員課勤務 1 名 ＊ 週 2 日学校司書・週 3 日学校職員課勤務 1 名。 ・昨年度、教育委員会訪問の際に伺ったことですが、学校図書館アドバイザーは 2 名体制になったこともあり、3 月までに、通常の学校訪問に加え、レイアウトの相談や新任司書へのアドバイスなどで、なんと 125 回も市内の学校へ行かれたそうです。1 人職場である学校司書へのサポート体制があるのは、とても心強いものだと思います。 ・昨年度は司書が配置されて 6 年目でした。金沢市では、非常勤職員は 5 年間となっていますが、学校司書の専門性を活かすために、「5 年満了者は公募による試験を実施し、職務に必要とされる能力を実証した場合は再度任用することが可能とする。」となっており、昨年度末も一昨年度に引き続き試験が行われ、新任を含めて 9 名が採用されました。 「２回か３回かの配置校は、全く前年度と変化なし！」ということは、週１回の差は、月で４回の差、年に４０回位の差、今年も変わらないとなると 2 年で８０回の差！この差は大きいと思います、さらに、1 校専任と比べると、格差はさらに大きくなります。学校司書は毎日いて欲しいと願います。
内灘町 記入者 学校司書	今年度の司書の配置人数は変更ありません。異動もありませんでした。昨年度は、残念ながら年度半ばで１名が自主退職し、また新たに１名の新しい方が入りました。 任期が３年という労働条件では、司書資格取得にはなかなか至らない状況です。また、１日５時間という短い勤務時間のため、時間外勤務が多く発生しています。 もう一つ、内灘町の学校司書の業務マニュアルの必要性は、各々が、かなり早い段階から感じていました。しかしながら、時間外業務が多く発生している現在の状況で、任期終了後に備えての業務マニュアルを作成していくというのはなかなか厳しいものがあり、未だ作成には至っていません。新たに内灘町の司書になられる方々のためにも、また、異動の際に不都合が起きないようにするためにも、作業手順や判断基準など、指針となるようなものが必要であると感じます。 また、今年度は司書１名が産休に入る予定です。産休制度取得についてはまだ決定していませんが、若い方が出産育児の後も、経験を活かして働けるといいなと思います。
津幡町 記入者 学校司書	・ 津幡町の学校司書は、3 名の退職があり、それに伴い、公共図書館の司書が小学校へ異動となりました。小学校司書は正規 1 名、非正規 3 名。中学校司書は正規 1 名、非正規 1 名という状況です。 ・ ・昨年度、津幡町では労働契約法の改正にともない、司書(非正規)の任期が最長 5 年と決まりました。来年度には、新しい司書が大半を占めることになります。そのため、マニュアルの作成などを進めていく必要性を感じています。

	・ 昨年度からスタートした「わたしのほんだな」(読書記録ノート)は、これまで1～4年生に配布でしたが、今年度から全学年に配布となりました。読んだ本の感想を記録し、それに保護者や教師、司書がコメントを記入することで、読書を通したコミュニケーションの手段となっています。 ・ 今年度は、引き続き公共図書館と協力し、「ちいさなほんだな　中学生向け」(学年に応じたおすすめの本のリスト)を作成していく予定です。
かほく市 記入者 学校司書	今年度、かほく市の学校司書は、５人中４人が学校間でかわるという大きな異動がありました。　ただ、全員同じメンバーであること、日ごろから、コミュニケーションが良いことで、それぞれの司書が、新年度を前向きに無事、スタートさせることができました。 　かほく市では、月一回、市図書館の司書と学校司書で司書研修会をおこなっています。 　昨年度より、先生方とＴ・Ｔでおこなう、利用指導の指導案の作成や実践に向けて取り組んでいるところです。 　また、昨年度、学校ボランティアの皆さんと作成したパネルシアターが中央図書館で上映され、たいへん好評だったこともあり、今年度は司書研修会で、パネルシアターの作成をおこない、かほく市の子どもたちへお話の楽しさを届けていきたいと思っています。
宝達志水町 記入者 学校司書	・29年度予算に嘱託かアルバイトの人件費を要求したが、残念ながら却下された。次年度も司書数増加に向けて要求していきたい。 ・今年度はボランティアさんの協力のもと各学校図書室の環境整備とおはなし会等を実施し、児童・生徒の読書推進を図り、「学校司書」の学校教育における重要性もひろめていきたい。
羽咋市 記入者 学校司書	羽咋市は、今年度も市の臨時職員（学校図書館事務員）が４名、非常勤職員（学校図書館司書）が１名配置されました。今年度、初めて学校図書館業務の経験者で構成されました。非常勤職員は、１年間の育児休暇の後、今年度復帰できました。 　昨年度もそれぞれの学校で、読書ビンゴやブックトークや本の福袋など、いろいろな取り組みを行いました。また、こまめに督促のよびかけをした結果、過去と比べて、各学校の紛失本が少なかったことが嬉しかったです。 　全校が専任で配置され、全員が司書資格を取得することが理想ですが、すぐにはできないので、今はみんなで連携し、今年度も子どもたちが利用しやすい図書館を目指していきたいです。
中能登町	報告者なし
七尾市	
志賀町	報告者なし
輪島市	報告者なし
穴水町	報告者なし
能登町 記入者 市民	２５日に能登町教委に行ってきました。 担当の方は一応好意的で考える会の7.1の「授業を支える図書館ｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄ」のチラシを各学校に配ってくださるそうです。 でもこのようなことを実践するには図書館支援員が各校週一回では実現できませんので増員

	をお願いしますとお願いしてきました。 中日に「すべての学校に司書」という記事が載ったそうですが、能登町はほど遠い現状です。奥能登でも珠洲は川端さんが頑張って、輪島は前からちゃんとした図書館があったのでそれなりですが、能登町は無資格のほとんど研修もない方が週に一日しか学校にいません、勿論二人ともがんばっておられるのですが・・・。 この明らかな格差は大学受験の論文や面接のプレゼンに明確に出てくると思います。
珠洲市 記入者 学校司書	昨年度は、司書の担当校異動がありました。新たな学校で、それぞれ企画を継続したり、新企画を考えたりしました。児童が少ないことを生かし、縦割り班での読書イベントや、国語の授業で、おすすめ本の紹介を学校間で行なったところもあります。ふるさと学習で、新聞記事を集めＮＩＥ（Newspaper in Education）の実践をした学校もあります。ただ、学校によって、学校図書館の利用に差があるのが現状です。<br　今年度の計画として、絵本と給食メニューのコラボや学校間交流をさらに広げる学校もあります。その他、あらゆる教科で図書資料を活用できるように、学校図書館の充実を図りたいと思います。そして図書担当の先生や学校と協力し、読書推進活動や学校図書館の利用促進に努めたいと思います。

１９市町